



活動の限界を 越えてゆけ



OTAKE 9 2020

ふるさと創生委員会 委員長 岩崎 静穂

パーソナルブランディング向上委員会 委員長 中野 友博

Fun to UP委員会 委員長 小田上 尚典

《例会報告 5月例会・6月例会・7月例会・8月例会》

おおたけテイクアウト

愉しむ #STAY HOME



活動の限界を 越えていけ

～この状況下での委員長の思い～

本年度ふるさと創生委員会では、笑顔あふれる住み続けたいまちを目指し、美しい景観と良好な生活環境の創造をテーマに愉しく交流しながら地域を笑顔に変える事業『花と笑顔のまちづくり』を企画し、事業開催に向け準備を進めておりました。

人と会うこと、ふれあうことが出来ずに、どのような問題が生まれ、どれだけの方が孤独を感じたかを考えると地域のふれあいこそが安心で安全な暮らしを守ることに繋がるのだと、今まで以上に大切なことであると感じました。

残念ながら事業は中止となってしまいましたでしたが笑顔で繋がる。そんな地域の笑顔を創り出す活動を続けていきたいと思えます。

ふるさと創生委員会

委員長

岩崎 静穂



当委員会での取り組みで意識した事は、【コミュニケーション頻度の増加】です。

対面できないからこそ、SNSを通じ委員会メンバーと積極的にコミュニケーションを図りました。

できない理由を並べるのではなく、どうしたらできるのかをテーブルに並べ、思考する意識が大切だと改めて実感しました。

またWEB会議を積極的に導入する事で、意識の共通化・委員会メンバーの頭の中の見える化を行うことができ、集中した状態で議論を交わすことが出来た事も、この状況下での大きな発見でした。

単年度制の組織だからこそ、委員会に何を残せるか、試行錯誤している日々が愉しくもあります。

パーソナルブランディング向上委員会

委員長

中野 友博



本年度「切れ目のない広報」を掲げる中で、このような状況になったことは大きな転換点でした。想定していた事業や例会が思うように行えない中で、理事長をはじめ会員全員がもどかしさを感じている暗中模索の状態をどのように伝えるべきなのかを委員会内でも考えていました。

本来の青年会議所活動が出来ないながらも4月には、大竹青年会議所初となるWEB例会や、WEB会議システムを利用した理事会を行うなど、困難な状況に負けない姿をありのまま発信することで大竹青年会議所の魅力を伝えることができると確信しました。パソコンなどの画面越しからでも会員の愉しさが伝わる広報を委員会メンバーで行ってまいります。

FuntoUP 委員会

委員長

小田上 尚典





5月例会 担当：三役会

4月例会ではYouTubeとラインを使用いたしましたが、今回はZOOMを使用しWEB例会を行いました。

これからの青年会議所活動を更に愉しく充実した物にする為に、ワークライフバランスを意識し、活動に集中して取り組める組織とは何かを考える場が必要と考え、講師公益社団法人日本青年会議所 組織改革会議 議長倉橋龍太郎様をお招きして、組織改革への意識を共有する目的とした例会を行いました。固定概念にとらわれるのではなく現実を見つめた組織運営、本質に向き合う姿勢などを学びました。



6月例会 担当：ふるさと創生委員会

ふるさと創生委員会が企画した委員会タイムでは、「地域のふれあいにより安心な暮らしが作られる」と理解していただくため他の地域で取り組まれている活動を知り、地域の方々と一緒にまちを創ること、その取り組みがもたらす良い影響・変化を知ることにより、その重要性を理解することを目的として行われました。

地域の人々に親しまれる美しい環境づくりやコミュニティづくりを地域振興などに役立て、質の高い豊かな生活と美しい景観の共有を目指す活動に取り組んでいらっしゃる公益財団法人日本花の会 和田博幸講師にZOOMでのご講演をいただきました。



8月例会 担当：三役会

委員会タイムでは、活力ある組織であり続けるための意識を向上することを目的として三役会が企画しました。

組織とは何なのかということから、大竹青年会議所の置かれている状況を分析し、逆境においても活動ができるのは、会員各々が今自分のやるべきことを意識し、行動に移せているからということを学びました。

このような高いモチベーションを逆境にあらずとも継続する方法を小人数のグループワークとZOOMを併用しながら学びました。

※なお、7月例会は、大雨による避難災害警戒レベル4の発令により中止となりましたが、8月25日に「8月第2例会」として開催させていただきました。報告はホームページに掲載いたします。7月例会に申し込んだ皆様、ならびに8月第2例会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

～ 新入会員紹介 ～

森田 進也 (39歳)

くば漁業協同組合

くば漁業協同組合に勤務しております森田進也と申します。

大竹青年会議所に入会し、会員や先輩方とのコミュニケーションを通じて交流を広げ、仕事やプライベートに活かしていきたいと思っております。

今後、大竹青年会議所の会員として様々なことに取り組み、自分という人間を磨き、少しでも地域の為に貢献できるようになりたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



Morita Shinya

活動の限界を
越えていけ

～おおたけテイクアウト～

新型コロナウイルス感染症対策飲食店応援プロジェクト
【おおたけテイクアウト～プロの味をご自宅で～】

担当 中野友博 電話番号 090-3639-1567

新型コロナウイルス感染症対策
飲食店応援プロジェクト
おおたけテイクアウト
～プロの味をご自宅で～



コロナなんかに負けるもんか。

先行きの見えないコロナウイルスとの戦いの中で、
大好きだったあの店が、家族でよく行っていたあの店が、ピンチを乗り越えるために頑張っている。
今こそ大竹市民2万7000人の応援で、あの店を、あの味を、守ろう、いや守るんだ。
コロナなんかに負けるもんか。

大竹市民2万7000人で守ろう、
ふるさとのご飯。

#おおたけエールめし

おおたけの味をSNSに投稿して応援しよう！



楽しむ #STAY HOME

おうち時間を笑顔に！



大竹青年会議所YouTubeチャンネルにて動画配信中♪



今回の編集にあたっては現状をどのように受け止め、活動しているのかを皆様にお伝えしたく、委員長の想いを掲載させていただきました。ウェブ上が中心となり、会員同士が直接顔を合わせる機会が減少している中でも楽しみながら活動している姿をお届けできればと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記：小田上 尚典

私たちの活動には様々な発見や気づきがあります。
私たちと一緒に活動してみませんか。



www.otakejc.com/

大竹青年会議所

検索

